

## 平沢復興大臣記者会見録

(令和2年10月8日(木) 16:58~17:03 於) 飯舘村役場2階第1  
会議室)

### 1. 発言要旨

お疲れ様です。本日は6カ所回らせていただきました。広野町、それから檜葉町、それから南相馬市、新地町、それから相馬市、それで最後にこの飯舘村、その6カ所の市長村長に就任の御挨拶をして、意見交換をさせていただきました。

意見交換では、いろんな御意見が出ましたけれども、今日は6カ所行っていますので、共通の問題は、教育とか人材育成、これが非常に大事だということ。それから若い人が非常に減っていると。その若い人たちを呼び込む、どんどん移住してくれるような、そういった政策を推進するのに応援してほしいと、そういったこと。それから風評対策、これに対してしっかり取り組んでほしいと。それから国際教育研究拠点、この問題に期待しているから、ぜひよろしくお願ひしたいということ。それから第2期復興・創生期間の5年間でこれから始まるわけですがけれども、こういった期間でさらに復興を進めてほしい、今後の支援をよろしくと、こういったこととございました。

いずれにしろ、本日いろんな御要望、御意見を伺いまして、そうしたことをしっかり胸に刻みながら、一日も早い被災地の復興に取り組んでいきたいと思ひます。

私からは以上です。

### 2. 質疑応答

(問) 大臣に一つお伺ひしたいんですけれども、飯舘村で長泥地区というところは、拠点外は全面的に除染をせず解除するという方針を示しておりますけれども、そのことについて大臣はどうお考えですか。また、他の町村に与える影響というのはどうお考えでしょうか。

(答) 拠点外の対応ですから、これについては、いずれにしろ時間がかかっても、拠点外のあれについては必ず整備を着実にやるというのは、これはもう私だけじゃなくて総理も言われているところとございます。しかし、いろいろと今御指摘の点も含めて、一つ一つこれから検討していかなければならないわけとございまして、それぞれの町村の課題とか要望等をこれからも丁寧に伺いながら、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。

(問) 風評払拭について、各市町村の首長さんから要望があったということですが、風評払拭をするために福島県内は長年取り組んで

いますが、なかなか成果が上がらない状況があります。大臣としましては、福島県の風評を払拭するために、何が必要かなど。

(答) これはあらゆる角度、あらゆる側面からのいろいろな取り組みが必要だろうと思います。もちろん、いろいろなメディアの方の御協力も必要だし、またいろいろこちらからも積極的にお願いして、これは日本だけじゃなくて、海外のメディアを通じてでも、いろいろな風評被害の払拭のために取り組んでいかなければいけないなと思います。

それだけじゃなくて、教育の問題も大事ですし、もちろん子供たちの教育も大事ですけれども、大人の人たちへのしっかりしたいわば教育というか、事実関係を正しく正確に把握していただくということも大事になってきますので、これもぜひしっかり私たちも取り組んでいきたいと思えます。

いずれにしましても、事実関係とは離れた感覚や考え方で、いろいろと差別的な、あるいは特に偏見みたいなものを持っておられる方もおられるわけですし、そういったことがないように、しっかりこの風評被害を払拭する、その先頭に私たち復興庁は立って、こういった問題に取り組んでいかなければいけないなと思います。

(以 上)